



南丹・船井交通安全協会会長
寺井 昌夫さん

南丹・船井交通安全協会は「南丹・船井地区において、安心して安全な交通社会の実現を目指し、南丹警察署・自治体と連携をしながら、住民の交通安全意識を高めるとともに、交通事故被害者の支援救済を行う」ことを目的に、各地域から選出された役員、評議員によって活動を行っています。

昨年4月に発足した交通安全協会のこれからの活動として、高齢者の事故や自転車の安全走行に重点をおいた住民参加型の地域別啓発活動を行うとともに、警察や自治体など各関係機関と連携をとりながら、交通事故による死亡者を限りなくゼロに近づけるために活動を行っていきます。

昨年度は交通事故により、南丹・船井地区で7人の尊い犠牲者が発生しました。今年は「交通事故0をめざそう」をスローガンにしています。地域のドライバーの皆さまには、前後の席のシートベルトの着用を行っていただいて、笑顔でゆとりの安全運転をしていただけるようお願いしています。



▲信号・横断歩道が少なく、横断者の事故が多い府道19号



▲左折時は通行者の巻き込みに注意



▲夜間の歩行者事故が多い国道9号沿い

安全で安心な交通社会の実現に向けて



南丹警察署交通課課長
香島 博さん

南丹市は高齢者の交通事故による死傷率が京都府に比べて高い（南丹市で約15%、京都府で約10%）地域です。また、南丹市は高齢者のドライバーが多いため、今後、高齢者ドライバーによる事故も増えることが予想されています。高齢者の方が運転される際には、自身の視力や聴力などの体の衰えと、それに伴う判断力の衰えをしっかりと理解して、無理をしない運転を行ってください。

高齢者に限らず、運転をされる皆さんも地域の安全な交通を守るために、また他人を傷つけるような事故を減らすため、安全運転を心掛けてほしいと思います。

南丹警察署は、昨年4月から旧美山町を含めた南丹市・船井郡が管轄となりました。市民の交通安全を守るため、高齢者の交通安全や自転車マナーの啓発、飲酒運転撲滅の活動を進め、市民が安心して交通対策を進めていきたいと思っています。



▲国道9号への流入車輦が多い南丹市園部町地内の都市計画道路



▲二輪車の走行では昼間の点灯が必要